

太平洋海域における漁業被害の概況（令和4年2月28日現在）

振興局別	魚種	数量	単位	金額（百万円）
根室振興局管内	サケ	—	尾	—
	ウニ	約 800	t	約 2,323
	計			約 2,323
釧路総合振興局管内	サケ	約 9,200	尾	約 22
	ウニ	約 1,200	t	約 4,011
	計			約 4,033
十勝総合振興局管内	サケ	約 15,300	尾	約 41
	ウニ	約 100	t	約 230
	計			約 271
日高振興局管内	サケ	約 3,400	尾	約 11
	ウニ	約 700	t	約 803
	計			約 814
計	サケ	約 27,900	尾	約 74
	ウニ	約 2,800	t	約 7,367
その他（※）		—	—	約 748
全道計		—	—	約 8,190

- 被害状況等は、漁協からの聞き取りによる概数のため、今後の調査に伴い変動する可能性がある。
- ・ サケの金額は、被害確認日の単価に被害重量を乗じて漁協で算出。
 - ・ ウニは、過去の平均生産量と金額を基準とし、へい死割合と影響が及ぶ年数（4年程度）から漁協で算出。
[へい死割合：根室5～9割、釧路4～9.5割、十勝最大10割、日高6.5～9.5割]

※1 サクラマス（十勝）などの試験養殖やブリ（日高）、クロソイ（十勝）のほか、影響が及んでいるツブ、タコや増殖用のサケなどを含む。

※2 そのほか、日高管内の漁協からは、操業の状況によりツブ・タコ・ナマコなどに壊滅的な被害が想定されるとして、今後、複数年にわたり最大で90億円程度の被害が見込まれているとの報告を受けており、今後、精査が必要。